

リスクはお好きですか？

皆さんは、ご自分の資産をどのように管理していますか？ 銀行預金、それとも株式運用でしょうか。

日本銀行の調査¹によると、日本の個人資産管理の54%が、現金もしくは預金です。

一方、米国では、それは12%弱に過ぎず、55%の資産が株式/投資信託/債券です。この違いは何に起因しているのでしょうか。

High Risk, High Return

一般に銀行預金などに比べると、株式や投資信託の購入はハイリスクですがハイリターンも狙えます。個人資産の管理方法をみても、日米間にはリスクに対する考え方に違いがあり、米国では日本よりハイリスク・ハイリターンを厭わない傾向にあるようです。

私は米国のベンチャー・キャピタル²に出向しているため、日常的にベンチャー企業への投資に遭遇しています。ベンチャー企業のなかには、マイクロソフト社のように大きく成長するものもあれば、資金繰りにつまづき、倒産の憂き目にあうものもたくさんあります。企業が倒産してしまえば、その株式やストック・オプションは紙切れ同然になってしまうものの、成功してIPOすれば膨大なキャピタル・ゲインを得ることができます。ベンチャー企業に出資したり就職したりすることは、ハイリスク・ハイリターンな行為なのです。

しかし、そのようなハイリスクが日常化しているからこそ、米国では優れたベンチャー企業に資金や優秀な人材が集まります。IT分野で世界をリードし、より良い技術や製品を生み出す背景は、実はここにあるのです。

Risk Management

「(米国人は)ハイリスク・ハイリターンを厭わない」と書きましたが、彼らが投機的なことを好むのだというわけではありません。むしろ米国人は、リスクにきちんと向き合い、その大きさを測り、

自分(自社)がどれだけのリスクを負えるかを踏まえて、リスクをとるかどうかの意思決定をしているように思います。リスクをとる際も、リスクを分散することなどで、その影響を最小化しようとします。リスク・マネジメントの方法論が市民レベルまで確立、浸透しているように思います。

また、リスクをとって成功を収める人は賞賛される文化もあるようです。一方、日本では、リスクの大きさに関係なく、リスクをとるという行為に抵抗感をもつ人が多いのではないのでしょうか。ある調査³によると、起業する際に家族が賛成する割合は日本では33%に過ぎませんが、米国では80%にも達するそうです。

Nothing Venture, Nothing Win

私は仕事柄、ベンチャー企業の技術や製品を日本企業に紹介することがあります。そのときに最も問われる点の一つが、ベンチャー企業の実績です。実績とは、そのベンチャー企業がこれまでどのような顧客に対し、どのようなソリューション(コスト削減、リードタイム短縮など)を提供したのか、です。実績の有無を確認することで、その企業の製品やサービスを採用する際のリスクを軽減することができます。日本では実績が重視され、実績のない企業と付き合うことは稀でしょう。

米国企業もある程度、実績を尊重しますが、その重要度は、機能やソリューションなど他の評価項目と比べると低く、実績が無くても、その技術が優れていると思えば導入を決めます。⁴というの

も、実績があるということは、自社の競合も含めて他社が既にその技術を活用していることになり、市場における先行者利益を得る機会は少なくなるからです。

有名なAmazon.comは、1995年7月に世界でいち早くオンライン書籍販売を始めました。実店舗が書籍販売の主要拠点であった当時、オンライン販売を成功させるにはリスクが大きかったでしょう。事実、常に順調であったわけではなく、ビジネスモデルについても賛否両論ありました。しかしながら最近の4四半期は連続で営業利益を上げ⁵今や、書籍に限らず、オンライン販売市場のパイオニアであり、リーダーだといえるでしょう。

故事「虎穴に入らずんば虎子を得ず」に相当する英文に「Nothing Venture, Nothing Win」があります。Ventureという言葉は、リスクもあるが一方で大きなリターンを得られる可能性もあるという「不確実性」を表すようです。⁶リスクを単に拒否するのではなくうまく付き合い、結果として大きな成功を勝ち取ること、これも日本の社会や企業を変革するのに必要なことではないでしょうか。

1 「資金循環の日米比較：2002年1Q」、日本銀行、2002年6月17日

2 Encompass Ventures (www.encompassventures.com)

3 「主要国の起業意識・都道府県起業力比較調査報告書」、中小企業総合事業団、2001年1月

4 1981年、IBMが自社のPC向け標準OSの開発を当時創業間もなかったマイクロソフト社に託したことなどは、その典型的な例でしょう。

5 2002年9月期は2度目の純利益(Net Income)を達成しています。

6 ベンチャーおよびリスクという言葉を私なりに解釈してみると、リスクは「ネガティブな結果(失敗、損失)になる可能性」を、ベンチャーは「ポジティブな結果(成功、利益)になるかネガティブな結果になるかわからない不確実性」を意味しているようです。



カリフォルニアセンター
アナリスト

森広 英和